



トイレ掃除

くさい！
きたない！
誰がこんなに汚したんや
腹が立つなあ

仕方ない
タワシで便器をこする
くさかった便器が
ちよつとずつ白くなってきた
あの イヤな匂いが
あんまり気にならなくなった

まわりのみんなも
便器をこすっている
終わってから見てみた
たった十五分で
こんなにきれいになるやな
匂いがしなくなるんやな

頼むわ みんな
明日から もうちよつと
きれいに使ってな
みんなで こんなに
きれいに したんやから

掃除の大切さを見つめなおそうと「日本を美しくする会 掃除に学ぶ会」が設立されました。この会は、掃除を続けることで一流企業に育てた鍵山さんの掃除哲学に学ぼうという有志が集まって生まれました。鍵山さんの会社では、社員全員が毎日掃除を行います。職場がきれいになると、社員の仕事の意欲が高まり、会社を訪れる人は会社に好感を持ってくれます。会社での毎日の掃除が口コミで広がり、会社の評価を高めることにつながり業績も上昇していきました。

大人の中でも、掃除に対する考え方は様々です。でも、たとえ「やらされてきた」掃除であっても、大人は「職場がきれいだと、働く意欲が出てくる」ことを体験上知っています。また、「家の中が片付いていなく、掃除が行き届いていなければ、落ち着いて生活ができない」こともわかっています。子どもたちに自分の環境を自分で整えていくという気持ちを育てていくためにも、勉強できる落ち着いた生活環境づくりも大切だと思います。「トイレ掃除をよくする子は、かわいい子に育つ」と言われています。誰からも愛される人になる、心配りのできる人になるということでしょう。

「日本を美しくする会 掃除に学ぶ会」のHPには、こんな言葉を載せています。「ひとつ拾えば ひとつだけ きれいになる」。

私の家族作文コンクール 安積三小が「学校賞」受賞 ●●●●●●●●●●

家族を大切に思う気持ちや家族への感謝、家庭生活の中で感じた絆の大切さ、ふれあいのエピソードなど、心温まる優れた作品が本校の6年生から多数応募されました。入選者が数多くいたことが評価され、学校賞を受賞することとなりました。

賞状と記念品をいただきましたので、全校集会で代表児童 遠田 一真君に伝達しました。

第30回全国小学校陸上競技交流大会郡山地区予選会入賞者 ●●●●●●●●●●

種目・順位・記録			学年・氏名		
男子6年100m	第3位	13秒47	6年	濱田 航	(県大会出場)
男子走り幅跳び	第3位	4m11	6年	菊地 涼太	(県大会出場)
男子走り幅跳び	第4位	4m06	6年	古川 真眺	(県大会出場)
女子走り高跳び	第4位	1m10	6年	佐藤 萌香	(県大会出場)
女子ソフトボール投げ	第6位	37m12	6年	齋藤ちひろ	(県大会出場)